

大阪府に大きな被害をもたらした過去の気象事例

「平成20年（2008年）8月5日～6日の局地的大雨」<熱雷>

枚方で1時間71.5ミリの非常に激しい雨

～床上、床下浸水が多数発生～

【概況】

8月5日から6日にかけて、近畿地方に南から暖かく湿った空気が流れ込み、また、両日共に日射が強く府内の多くの地点で最高気温が35度を超えるなどしたため、大気の状態が不安定となった。このため、両日ともに、夕方から夜にかけて各地で雷を伴い大雨となった。

5日は、生駒山で1時間に34.5ミリの激しい雨が降った。この大雨で堺市を中心に、床上浸水11棟、床下浸水72棟の浸水害が発生した。また、道路冠水、落雷による停電等が発生した。（被害状況：平成20年8月6日10時現在 大阪府調べ）

6日は、枚方で1時間に71.5ミリ（観測史上1位（当時））の非常に激しい雨となった。この大雨で大阪府北部を中心に、床上浸水126棟、床下浸水1,959棟の浸水害が発生した。また、道路冠水、落雷等による停電が発生し、交通機関等にも大きな影響が出た。（被害状況：平成20年8月8日13時現在 大阪府調べ）

